



リサイクルの町から 世界の未来をつくる町へ

鹿児島県大崎町 環境政策課



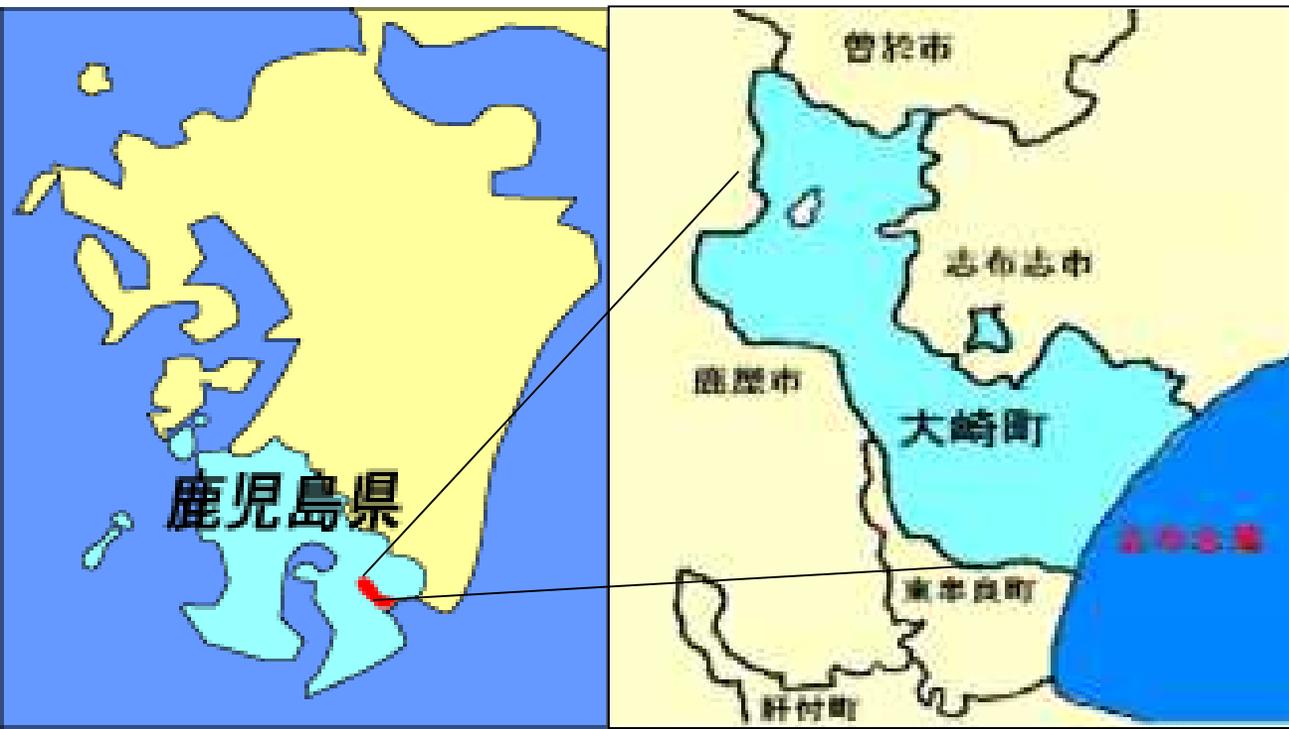
大崎町の概要

人口 12,006人 世帯数 6,545世帯

(令和6年4月1日現在)

面積 100.64km² 農業が主幹産業

ふるさと納税日本一(平成27年度)





焼却施設がない



埋立処分場の残余年数の逼迫



埋立処分場の延命化

3つの選択肢

- 1 焼却炉の建設 ×
⇒建設費・維持費の問題
- 2 新たな埋立処分場の建設 ×
⇒周辺住民の理解が得づらい
- 3 既存の埋立処分場の延命化 ○
⇒分別ルールの策定・住民への説明



大崎リサイクルシステム

- 埋立処分場の延命化という目的を達成のため、住民と行政と企業という3つの主体が協働・連携することで信頼関係が構築され、大きな効果（メリット）を生み出す仕組み

住 民

(家庭)
(事業所)



回収

協働・連携
そして信頼

説明・指導

企 業

(リサイクルセンター)
(収集業者)

許可・委託

行 政

(大崎町)



行政の役割

- ・ システム（法律）の整備
- ・ 収集したゴミの出口（最終処分先）確保
- ・ ゴミ出し日、時間、場所、収集ルート決定
- ・ 分別品目を決める
- ・ 地域リーダーを決めて指導
- ・ 環境学習会の開催



分別を開始する時、大崎町は150の地域で約450回の説明を行いました。
今でも年1回、150の地域リーダーへの研修会を行っています。

住民の役割

まず家庭・事業所で

きれいに分別する

分別したゴミを出す

ステーションで種類ごとに出す



企業の役割

ゴミの検査

行政の委託による
ゴミの回収

検査後は商品として出荷する



家庭ごみの正しい分け方と正しい出し方

決められた時間までに指定袋で、名前を書き、決められたものを、町内の決められた収集場所に出しましょう。大府町・大府町環境自治会

資源ごみの日(祝日も収集) 毎月1回第[]回目の木曜日・収集時間は[]

詳しくは、このパンフレット
やホームページをご覧ください。

令和6年度より紙おむつ(紙パンツ)が分別品目に加わりました。

資源物 紙おむつ・紙パンツ 紙おむつ・紙パンツ	資源物 紙おむつ・紙パンツ										
資源物 紙おむつ・紙パンツ					資源物 紙おむつ・紙パンツ						
資源物 紙おむつ・紙パンツ					資源物 紙おむつ・紙パンツ						
資源物 紙おむつ・紙パンツ					資源物 紙おむつ・紙パンツ						

| 資源物
紙おむつ・紙パンツ |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 資源物
紙おむつ・紙パンツ |
| 資源物
紙おむつ・紙パンツ |
| 資源物
紙おむつ・紙パンツ |

混ぜればごみ、分ければ資源!

資源物の出し方

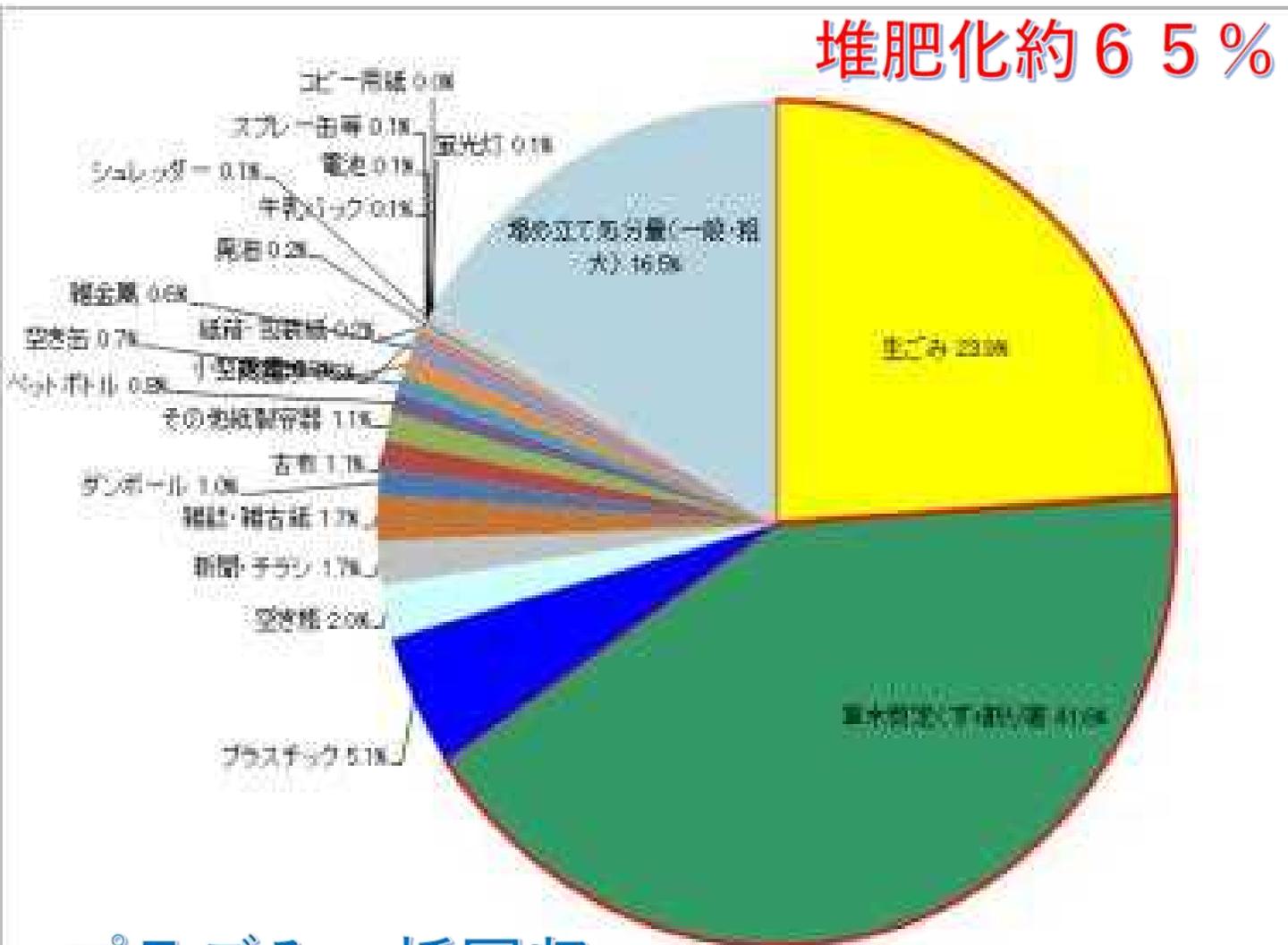
町が引き取らないごみ

資源物の出し方



大崎町の品目別の組成割合

堆肥化約 65%



品目	組成割合	重量 (kg)
草木剪定くず+割り箸	41.6%	1,720,200
生ごみ	23.9%	987,640
プラスチック	5.1%	209,105
空き缶(生き瓶・茶瓶・透明瓶・その他瓶)	2.0%	84,092.6
新聞・チラシ	1.7%	69,673
雑誌・雑古紙	1.7%	72,124
ダンボール	1.0%	41,236
古布	1.1%	45,736
その他紙製容器	1.1%	44,536
ペットボトル	0.8%	32,602
空き缶(アルミ・スチール)	0.7%	28,066.1
小型家電	0.8%	32,096
雑金属	0.6%	23,895
陶器類	0.5%	20,213
紙箱・包装紙	0.2%	6,710
廃油	0.2%	7,177
牛乳パック	0.1%	4,453
シュレッダー	0.1%	2,564
スプレー缶等	0.1%	5,456
電池	0.1%	6,068
蛍光灯	0.1%	4,683
コピー用紙	0.0%	1,308
埋立処分量(一般・粗大)	16.5%	680,938
合計	100.0%	4,130,571.7

プラごみ一括回収

「葉の花エコプロジェクト」イメージ図



資源の循環

ごみ収集車の燃料へ
BDF(ディーゼルエンジン代替燃料)



混ぜればゴミ、分ければ資源

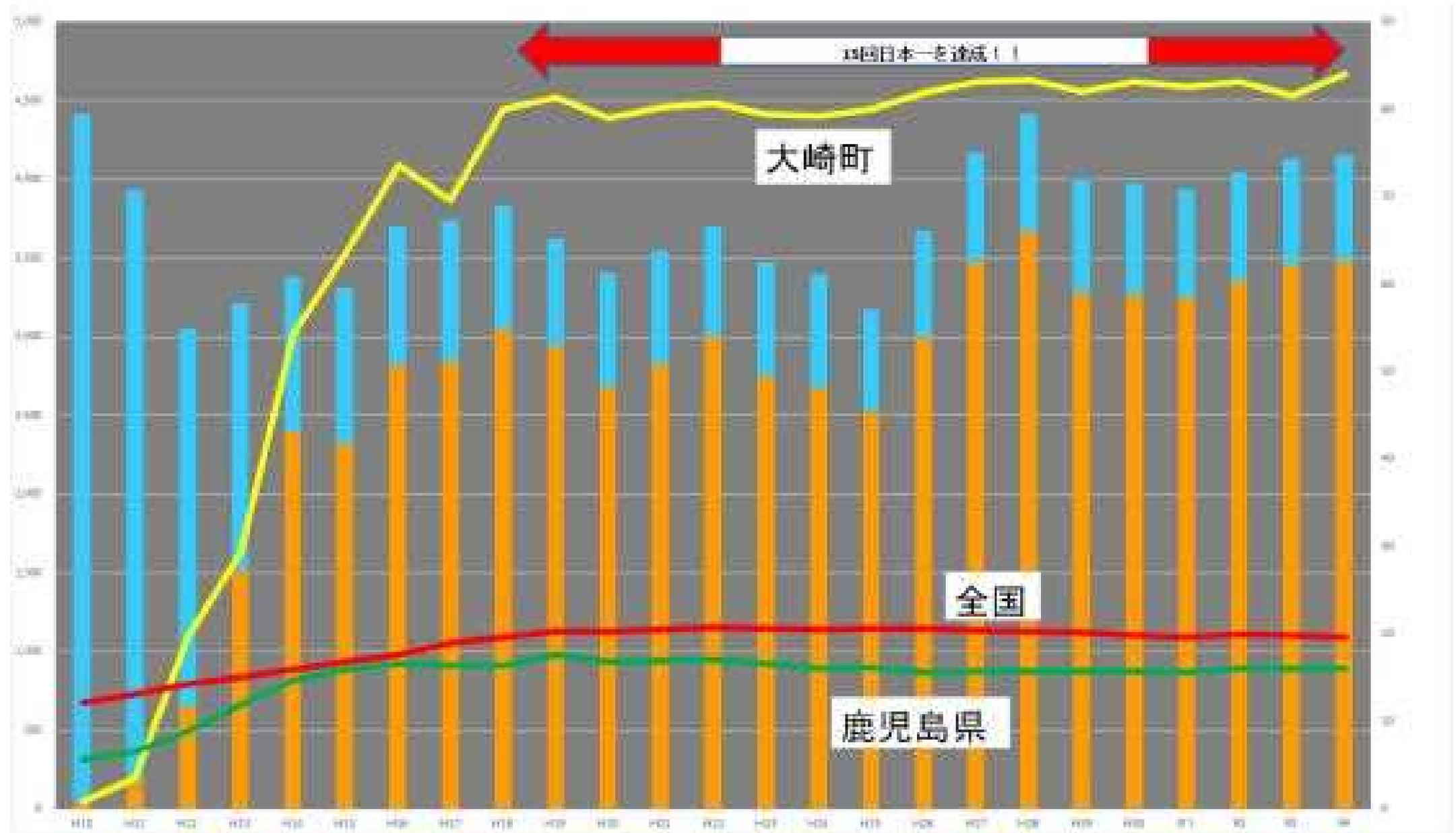
28品目分別

リサイクル率 84.0%

(令和4年度実績)

15回目の日本 No.1

大崎リサイクルシステムのメリット（埋立ゴミ量の削減）





大崎リサイクルシステムのメリット

(1人当たりのゴミ処理経費の削減)

住民の皆さんがゴミを分別しリサイクルすることで、1人当たりのごみ処理経費は**全国平均の約2/3**で処理できています。
 これは、全国平均と比較して**年間で約7千万円が節約され、福祉や教育といった他の分野に使われる**ことで、本町の**財政的にも大きな効果**が得られています。
 大崎町の取り組みは、低コストで持続可能な資源循環型の廃棄物処理システムと言えます。

大崎町のごみ処理総経費 $12,600円 \times 12,346人 = 1,555,596,000円$
 仮に全国平均のごみ処理に取組んだ場合 $17,100円 \times 12,346人 = 211,116,600円$
 ※ $211,116,600円 - 155,557,000円 = 55,557,000円$ の節約 (約5~6千万円)

項目	全国平均	大崎町		
	令和4年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実態調査時人口	125,634,343人	12,784人	12,532人	<u>12,346人</u>
ごみのリサイクル率	19.6%	83.1%	81.6%	84.0%
1人当たりごみ処理事業経費	<u>17,100円</u>	11,500円	11,700円	<u>12,600円</u>

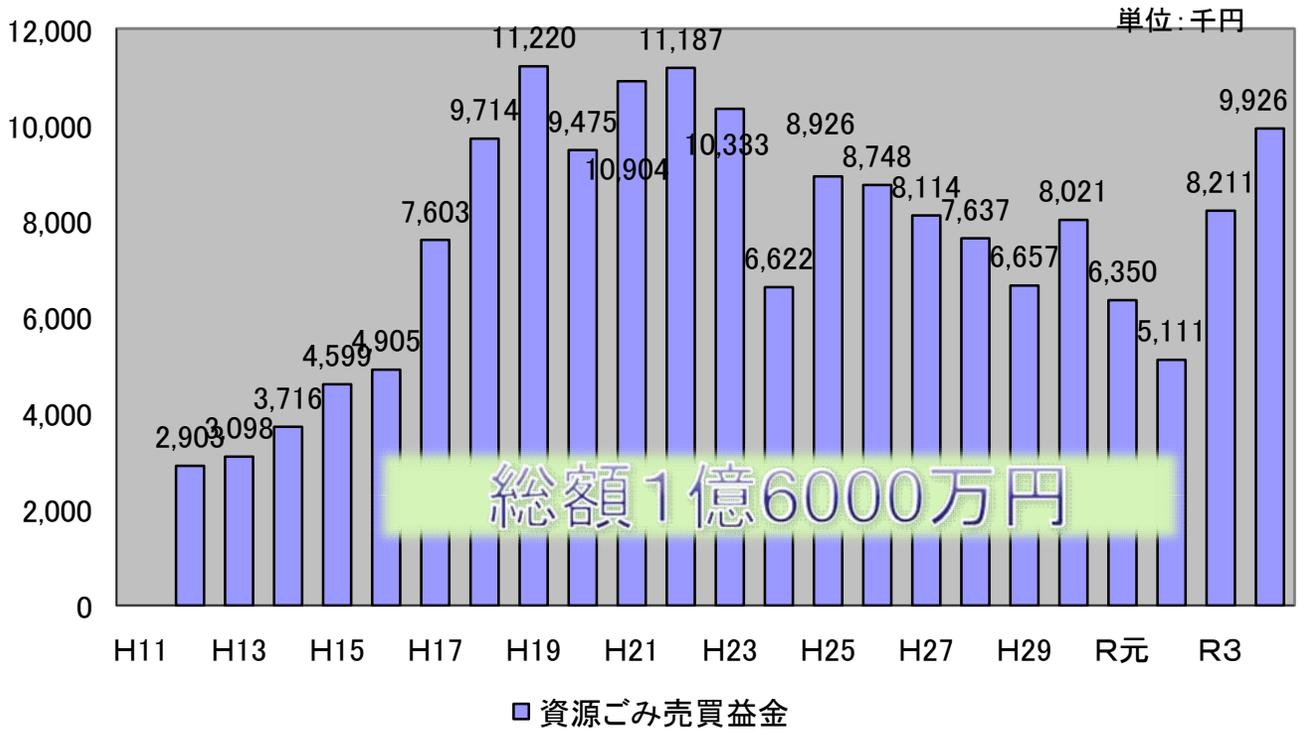
$(17,100円 - 12,600円) \times 12,346人 \div 55,557,000$ 約5~6千万円/年が、福祉・教育等他分野へ



大崎リサイクルシステムのメリット

(資源ごみ売却益金の発生)

住民の皆さんに分別された資源ごみは素材ごとに分けられリサイクルされますが、その一部は有料で売却できるものがあります。有価物の価格は相場により変動するので一定ではありませんが、令和3年度で約820万円が町の収入となっています。分別を始めてから現在までの売却益金の合計は、約1億6,000万円にもなっています。



資源ごみから生まれた 【リサイクル未来創生奨学ローン】の開始

平成30年11月から資源ごみの売却益金の一部を活用し、リサイクル未来創生奨学制度を開始しました。大崎町が長年取り組んできた、家庭から出された資源ごみが再び価値あるものとして活用される持続可能な資源循環型社会づくりのように、大崎町で育った人材が勉学に励むことを支援し、故郷の活性化を担う人材に成長し、再び大崎町に定住し、活躍することを促進するために創られた新しい奨学制度です。

リサイクル未来創生奨学ローン

「リサイクル未来創生奨学ローン」と一般的な「奨学金」のポイント

リサイクル未来創生奨学ローン	日本学生支援機構
返済期間が長い	返済期間が長い
返済方法が柔軟	返済方法が柔軟
返済額が変動	返済額が変動
返済利率が低く	返済利率が低く
返済期間が長い	返済期間が長い
返済方法が柔軟	返済方法が柔軟
返済額が変動	返済額が変動
返済利率が低く	返済利率が低く

大崎町の行う「リサイクル未来創生奨学ローン」について

奨学金の利子 年1.50%

返済期間 5年以内

返済額 50万円～500万円まで

大崎町 大崎町大崎町役所庶務課 電話 099-476-1101



大崎リサイクルシステムのメリット

(雇用の増加)

大崎町にあるリサイクルセンターでは、近隣自治体も合わせて100,000人分の資源ゴミを取り扱っていて、40人程度の雇用が生まれています。

分別の取り組みをすることで非常に大きな経済効果が出ていると言えます。





大崎町からインドネシアへ



Japan offers cooperation on new recycling center

The Jakarta Post

Japan's government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

Minister of International Trade and Industry (MITI) said.

Recommendation will be made to the Indonesian government.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

which will use technology and expertise from Japan.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

to implement the plan, which will be completed by 2015.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.

The Japanese government will cooperate with Indonesia to build a new recycling center in the country, the Japanese government has announced.



インドネシアの埋立処分場





バリ州デンパサル市における資源循環型まちづくり技術支援事業 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠） 平成27年度～28年度

バリ州での指導

埋立処分場の延命化という目的や、家庭での分別、中間処理施設での検査、堆肥化技術の習得の重要性、有機堆肥を使用した安全安心な作物作りを指導した。

大崎町での指導

実際に大崎町で行われている分別収集システムや農業生産現場を視察し、分別収集システム学習や生ゴミ・草木の堆肥化技術の習得を図った。



南日本新聞
平成28年9月9日掲載





ガバメントクラウドファンディングで自治体間連携



東川スタイル×大崎システム

日本と世界の未来を育む
リサイクル留学生プロジェクト

プロジェクト概要

東川大崎モデル（仮）を達成する持続可能なスキームを構築。その財源を確保するためにふるさと納税（ガバメントクラウドファンディング）を活用。インパクトあるコンセプトを設定し、寄附を募る（共通ファンド）。今後展開を考慮し事業設定。

①プロジェクト短期
留学生募集

②東川町日本語学校
語学留学

③大崎町リサイクル
技術指導

④語学力が高く専門的なりサイクル技術を有する留学生がアジア各地でゴミ問題に対処



SDGsによる持続可能な大崎町を目指して



日本と世界を変えるための17の目標です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは：

SDGs（エスディー・ジーズ：Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

2015年9月、SDGsの前身であるMDGs（ミレニアム開発目標）を継承し、国連で採択されました。貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

SDGsのポイント：

•**先進国も、途上国も。すべての国や地域の人たちが取り組むための目標です。**
先進国の人たちの暮らしが、世界の貧困や環境の問題にも大きな影響を与えています。すべての国の政府に、SDGs達成に向けた政策をつくり、それを国家計画に反映していくことが求められています。

•**「誰も置き去りにしない（Leave no one left behind）」**
マイノリティや社会的弱者、子どもからお年寄りまで、すべての人たちが大切にされる、包摂的（インクルーシブ）な社会をめざします。

•**それぞれの問題は、相互に関連しています。**
異常気象が一次産業に大きな影響を与え、食料不足を引き起こす。貧しさのために十分な教育を受けることができず、貧困の輪から抜け出せない……。SDGsに掲げられたそれぞれの問題は、互いに深く関連しています。

•**つながりあって、アクションを**
問題の解決のためには、政府ばかりではなく、企業やNGO・NPO、農業者や女性など、いろいろな背景を持った人たちがつながりあって、それぞれの良さをいかしながら、クリエイティブに取り組むことが大切です。

2030年、世界はどのようになっているでしょう。SDGsが掲げたビジョンが実現するか否かは、私たち一人ひとりの思いとアクションにかかっているのです。

2030年に達成すべき持続可能な開発目標です

©2015 SDGs 日本

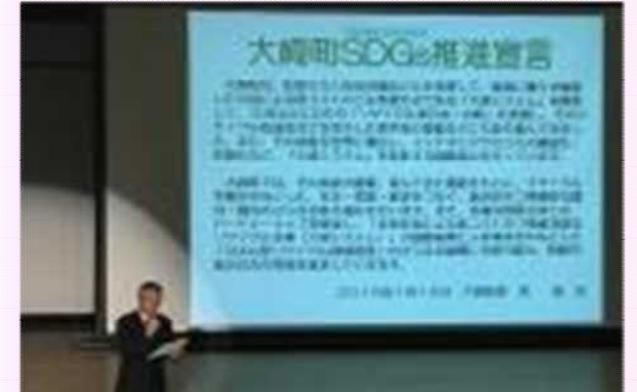


大崎町のリサイクルをSDGsの視点から再定義

第2回ジャパンSDGsアワード
内閣官房長官（副本部長）賞受賞
2018年12月21日



大崎町SDGs推進宣言
2019年 1月14日



大崎町持続可能なまちづくり推進条例可決
2019年 3月

令和元年度SDGs未来都市選定
自治体SDGsモデル事業採択
2019年 7月 1日





大崎の掲げる構想

サーキュラービレッジ構想

リサイクルの町から、
世界の未来をつくる町へ



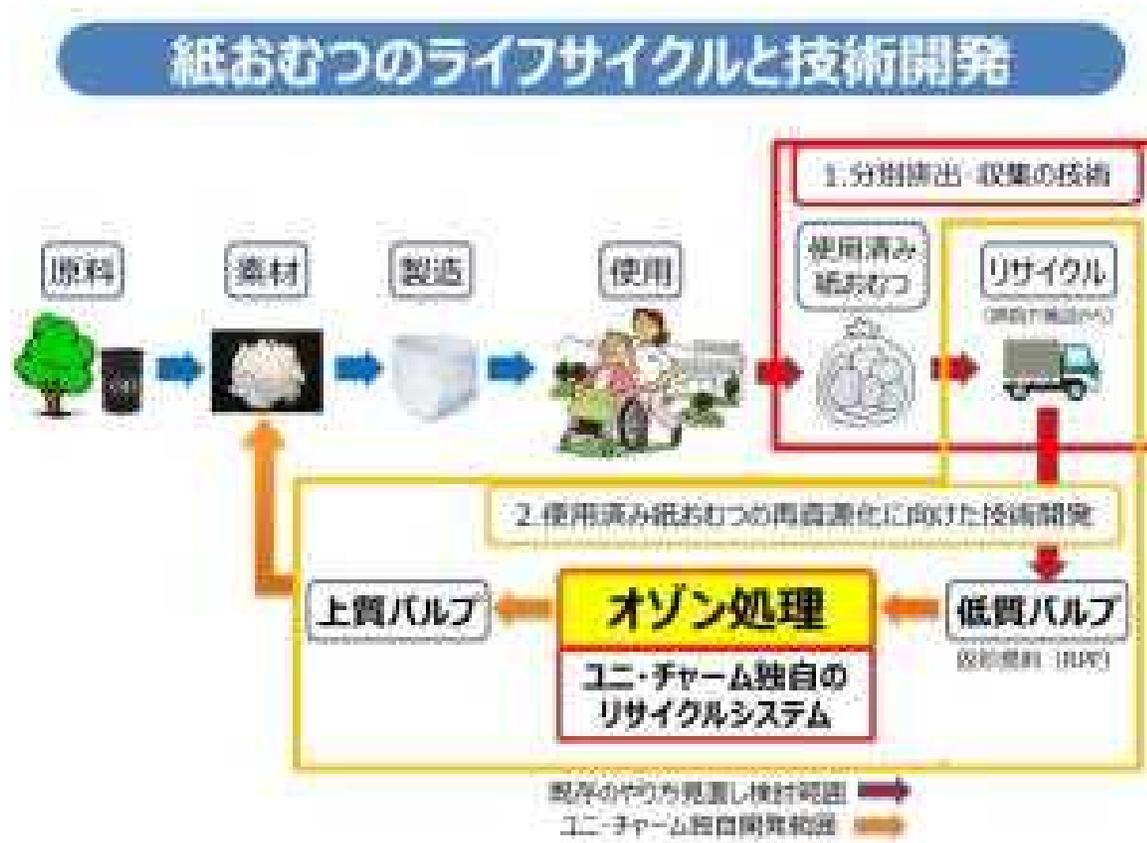
2024年までを第一期としておよそ10億円をかけて、資源循環型のモデル都市（サーキュラービレッジ）整備事業を実施

その予算として企業版ふるさと納税を活用

企業には大崎町で実施する実証実験に、積極的に人材派遣を要請し、企業と地域が一体となって社会課題解決に向けて挑戦

新たな動き・企業との連携

リサイクルの町から、
世界の未来をつくる町へ

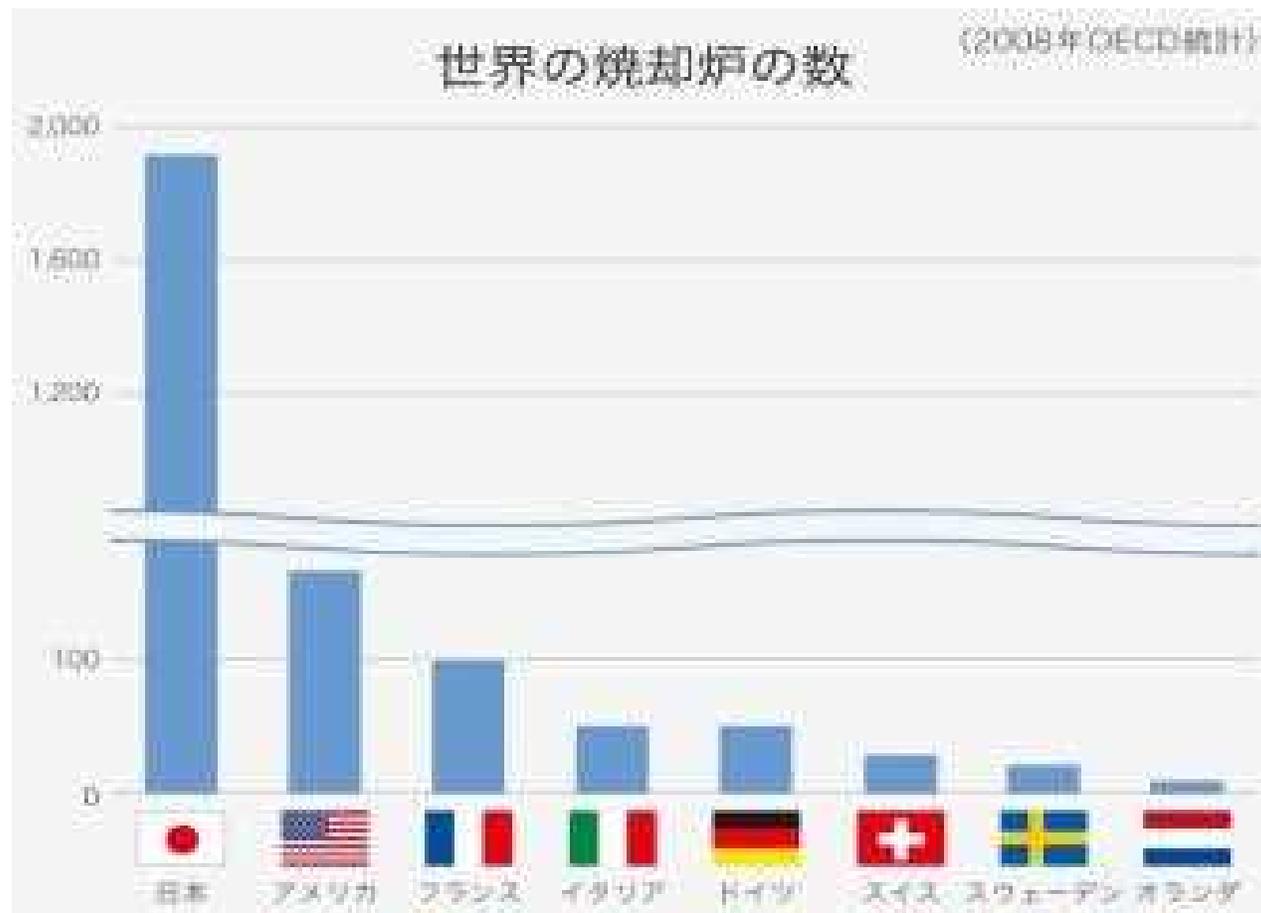


大崎町・志布志市・ユニ・チャーム・そお リサイクルセンター協働の実証実験

- 現在埋め立てられているゴミの1/3が紙おむつ
- リサイクルできれば大崎町の埋立処分場のさらなる延命化につながる
- 日本は紙おむつの輸出大国
- 環境配慮型の取り組みの推進へ

令和4年度末 日本の焼却炉数

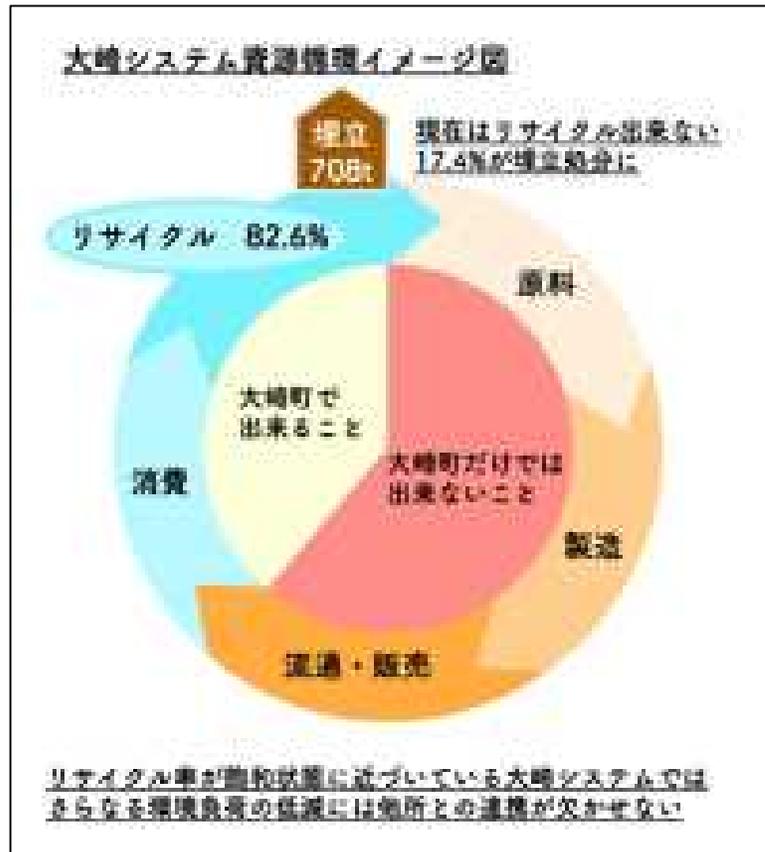
1,016施設



Yahoo! ニュース：なぜ燃やす？2兆円超、8割が水の生ごみも
焼却ごみ量・焼却炉数ともに世界一の日本

生まれてきた視点

リサイクルの町から、
世界の未来をつくる町へ



サーキュラー・エコノミーを意識したとき、
大崎町で出来ていることは消費と分別だけだった。

大崎町の生活をもっと便利にすること。
大崎町の外にこのシステムを広げること。

もっと上流の企業と一緒に
循環の仕組みを作る必要がある。

Yahoo!Japan による「カーボンニュートラル」をテーマにした 企業版ふるさと納税の寄付先に鹿児島県大崎町が選定



鹿児島県大崎町

<プロジェクト概要>

- ①研究者と大崎システムを評価
- ②企業とともに大崎システムをアップデート
- ③自治体等のエリアに大崎システムを展開





ビジョン実現に向けた4つのSTEP

STEP.04



STEP.03



STEP.02



STEP.01





『世界標準。』大崎